

事業所名

すてっぴえにわ

支援プログラム

作成日

R7 年

11 月

1 日

法人（事業所）理念	より良い福祉サービスの提供を通じて、社会に貢献します。					
支援方針	様々な要因から課題を抱えている児童に対し、個々に応じた療育を行います。学校や学年に関係なく友達づくりをし、一緒に学ぶ居場所づくりを行っていきます。					
営業時間	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康な体と心を育て、集団生活を過ごしていく。集団で過ごす中で、食事や排泄等の基本的な生活リズムを身に付け、基本的技能を獲得する。時間での活動の切り替えを声掛けや、絵カード+文字での掲示にてわかりやすく伝えていく。				
	運動・感覚	粗大運動やコーディネーショントレーニングなど、特性に合わせた運動を行い、運動機能や身体能力、感覚統合の向上を図る。活動に取り組む前にルールや体の動かし方等を説明を行い、基本的動作、自己のコントロールを理解する。				
	認知・行動	文字や数字を遊びやルールに導入し、活動の面白さ、興味の拡充を図る。言葉だけでなく、実物や動画、写真などを提示し、自分で気持ちを感じられるような自己決定の形成を図る。				
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの場を作り、会話で自身の気持ちが出出出来るようサポートする。また、コミュニケーションツールを用いてどのような気持ちなのかを考え、その気持ちが出せるよう支援する。コミュニケーションの中で自身の気持ちが相手に伝わった際には、称賛しコミュニケーション能力の向上を促していく。				
	人間関係 社会性	集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。他者との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する。				
家族支援	自宅への送迎時、施設への送迎時に、施設での様子を口頭や連絡帳にて伝える。保護者と事業所の連携が必要な際は、都度スケジュールを調整し、情報共有の場を設ける。	移行支援	B型事業所と繋がり、野菜の植え、収穫等の就労に向けた作業の活動に参加している。			
地域支援・地域連携	本児の学校での様子を送迎時に伺う。様子等の何か変わり事があれば、関係機関と連絡を取り、情報共有を行う。	職員の質の向上	帰り送迎終了後に、毎日支援の振り返りや支援内容の結果報告を行っている。また、社内研修を行い、支援・サービスの向上を目指している。			
主な行事等	秋祭り、雪祭り、外出（動物園、水族館、科学館）、製作活動、クッキング、外食、クリスマス会、初詣、お誕生日会、卒業・進級を祝う会、保護者交流会）					